



安全データシート

SDS 制度では、密閉された状態で使用される製品は対象外であり、電池はこれに該当します。したがって本資料は、参考用として提供しています。本資料は、作成時点で入手できた情報に忠実かつ正確であるよう作成されていますが、記載されたデータや評価について、いかなる保証もすることはできません。

1. 製品及び会社情報

製品名 アルカリボタン電池 (LR)	サイズ 全品種	作成日 2026 年 3 月 1 日
会社名 マクセルサクラ株式会社	電話番号 0794-63-8054	
住所 〒963-0531 福島県郡山市日和田町高倉字下杉下 1-1	FAX番号 0794-63-8445	

2. 危険有害性の要約

電池の使い方を誤ると、電池を変形、漏液(電池内部の液体が外部に出てくること)、発熱、破裂させる原因となる。これらは、けがや機器故障の原因となる。特に、漏れた液体が接触すると失明などの傷害を引き起こすこともあるので、警告事項、注意事項を必ず遵守すること。

3. 組成、成分情報

主な成分 (化学式)	CAS 番号	含有量 (%)
二酸化マンガン (MnO ₂)	1313-13-9	18~33
水酸化カリウム (KOH)	1310-58-3	2~7
亜鉛 (Zn)	7440-66-6	6~11
黒鉛 (C)	7782-42-5	1~4

4. 応急措置

通常の状態では問題なし。ただし、電池から内容物が漏れ出した場合には、以下の処置を取ること。

- ・吸入した場合 破裂した場合、アルカリ水溶液のミストが飛散する可能性がある。このミストを吸い込んだ場合は、呼吸器を刺激する可能性がある。新鮮な空気のある場所に移し、水で口の中をよく洗った後、医師の診断を受ける。
- ・皮膚に付着した場合 多量の流水で洗うこと。かゆみや炎症等の症状がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。
- ・目に入った場合 流水で最低 15 分間洗眼した後、医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合 電池の場合、直ちに医師の手当てを受ける。内容物の場合、水で口の中をよく洗った後、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- ・消火剤 全ての消火器を使用することができる
- ・特定の消火方法 火災時に電池が破裂してアルカリ水溶液が飛散する。これを吸い込んだり、目に入ったり、皮膚に付着しないよう呼吸用保護具、保護めがね、保護手袋および保護衣類を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

電池から液体が漏れているときは、乾布で拭き取り、液体が人体に接触した時はセクション 4. 応急処置にしたがうこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

① 取扱い

- **電池を飲み込まないようにしてください。**

電池を乳幼児の手の届く所に置かない。

万一、電池を飲み込んだ場合は、4. 応急措置を参照ください。

- **電池から出た液体に触れないでください。**

電池の液が目に入ったり、液が口の中に入ったり、唇に付着した時は、4. 応急措置を参照ください。

- **電池をショートさせないようにください。**

電池の(+)極と(-)極を針金などで接続したり、電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れて、電池を変形、漏液、発熱、破裂させる原因となります。

- **電池を充電しないでください。**

充電すると絶縁物や内部構造などが損傷して、電池を変形、漏液、発熱、破裂させる原因となります。

- **電池を火の中に投入しないでください。**

電池を破裂させる原因となります。

- **電池を加熱しないでください。**

100℃以上に加熱すると電池内圧が上昇し、電池の変形、漏液、発熱、破裂の原因となります。

- **電池を分解、加圧変形しないでください。**

絶縁物や内部構造などが損傷して、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。

② 保管

高温、高湿の場所を避けること。水に濡らさないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

呼吸の保護	NA
換気処置	NA
保護手袋	NA
目の保護	NA
その他の保護用衣類、設備	NA

9. 物理的及び化学的性質

ボタン形の形状をした公称電圧が 1.5V の一次電池である。

10. 安定性及び反応性

- ・安定性 安定(環境によって性能劣化あり)
- ・相反性、回避物質 NA
- 危険な重合 NA
- ・避けるべき条件 セクション 7 参照
- ・危険な分解生成物 NA

11. 有害性情報

内容物は電池容器の中に密封されているので、有害性はない。

12. 環境影響情報

電池を土中や水中に廃棄した場合、電池容器が腐食して内容物が漏れ出す可能性があるが、環境影響への情報はない。

13. 廃棄上の注意

他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートして、変形、漏液、発熱、破裂するおそれがある。廃棄する際は、電池1個ごとに(+)極と(-)極を絶縁性テープで絶縁し、電器店、時計店、カメラ店などに備え付けの「ボタン電池回収箱」に入れること。

14. 輸送上の注意

アルカリボタン電池は、危険物輸送規則上の規制物質ではない。

航空輸送規制である IATA/DGR(第 67 版)では危険物として分類されておらず、また A123 を満足しているので通常貨物として輸送できる。ただし、航空輸送する場合には航空貨物運送状の物質の記述欄に、「Not restricted, as per Special Provision A123」という文言を記載してください。

15. 適用法令

環境に関する法令として以下が有る。

- 1) EU BATTERY DIRECTIVE 2006/66/EC (2013/56/EU)
- 2) EU Battery Regulation, (EU)2023/1542

16. その他の情報

さらに詳細な情報が必要な場合は、営業部門にご連絡ください。